

学校・保護者・地域をつなぐ...

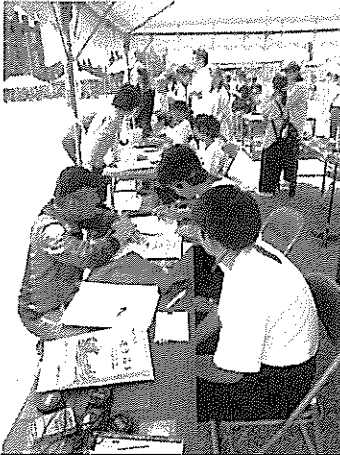
うてよびびけよ 鼓中通信 第5号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して...

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
☎059-386-5852

令和7年6月6日

Break the limit~討って響かせ、絆の声 全力でやり切った体育祭



6月4日(水)の程よく曇りの爽やかなよいお天気の中、今年度の体育祭が行われました。係りの生徒たちは、1時間ほど早く登校して、前日にできなかった準備を手際よく始めました。おかげさまで予定通り開始です。



今回の種目は、クラスの全員が参加し楽しめるものとなるよう、生徒会が計画したものです。昔ながらの二人三脚、玉入れ、リレー、大縄、綱引き...どれもシンプルですが、大接戦で大変盛り上がりしました。



地域や保護者の皆様のたくさんの温かいまなざしに見守られ、仲間とともに達成する喜びや、満足感を十分味わうことのできた1日となりました。PTAと教員の綱引きは容赦なかったですね(;▽;)



がんばれ~!! 熱い声援がグラウンド中に響いていました!!

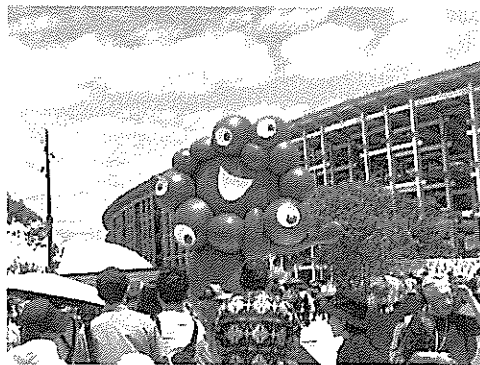
1 年生社会見学 大阪・関西万博パビリオンを巡って

5月22日(木)に1年生3クラスがバスで大阪関西万博に行ってきました。当日はお天気にも恵まれ、たくさんの来場者でにぎわっていました。パビリオン全部に入ることは



できませんでした。広い会場にはたくさんの見るべきもの

がありました。
生徒たちは、異国の文化や芸術

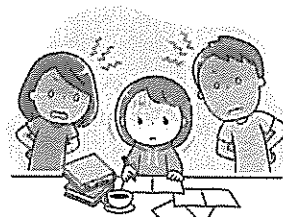


に触れるとともに、最先端のテクノロジーを体感し、創造力と感性をはぐくむよい機会となりました。班別学習では、協力しながら活動を楽しむことができました。

保護者の皆様には、朝早くからお弁当等の準備をいただき、ありがとうございました。

【コラム】 教育熱心と教育虐待

もうすぐ今年度2回目のテストがやってきます。次回は全教科のテストとなり、毎日の授業での集中に加えて、復習の時間量や自分に合った学習法を試行錯誤しながら取り組むことになります。さて、成績個票や通知表が配られたとき、保護者の皆さんは、いつもお子さんにどのような言葉がけをされるでしょうか。



お子さんが自分なりに一生懸命に取り組んだ結果をみて、「成績が悪いと子どもを怒鳴る」「睡眠時間を削ってさらに勉強させる」「正座をさせて反省させる」…これらは、今話題になっている教育虐待です。自分としては教育のためによかれと思った言動がいきすぎたものになっていないか、考える必要があります。教育虐待とは、子どもの心や身体が耐えられる限度を超えて教育を強制することで、心に深い傷をつける場合があります。佐賀で起きた元大学生の両親殺害事件では、背景に教育虐待があったと裁判で専門家が証言し、注目を集めました。高校を決めさせてもらえず、親の望まぬ学校なら親は願書を書かない、ということも同じです。

教育熱心でありたいと思いながらも、教育虐待につながってしまうケースもあります。

子どもはそもそも別の人格ですから、親は子どもが幸せな状態かどうかというのを第一に考え、目的に対して無理だった場合でも別の道を考えてやらなくてはなりません。実際に子どもが、今、どんなことを感じているだろうかとか、何を考えていてどうしたいのだろう…ということに共感することが重要です。しかし、反対に、親が子どもを大切にしようあまりに、いつしか自分が子どもと一体化してしまう場合があります。親は子どもの成功を思い描き、思い通りにならなかったときに、子どもを叱責したり、体罰につながるような対応をしたりしてしまいます。この子にとっていいことは、自分が全部知っているから、すべて自分が決めて、そうさせるという感じです。教育虐待をしてしまう場合も、自分が悪い親だとは全く思っていないようです。子育ては難しいですが、お子さんが別の人格であることを認め、尊重できるような心のゆとりが必要です。